

# 株式会社アウトソーシングテクノロジー 未経験者・若手向け面接資料



# 1.ITエンジニアとしてのやりがい



## 【注意点】

- ◆お客様は全ての企業が対象となる。
- ◆官公庁など国で管轄する機関もお客様の対象。
- ◆ITエンジニアがいないと、企業や公共機関がストップしてしまうことがある為、なくてはならない存在。

# 2. 技術ジャンルの需要と未経験者のハードル

【対象】 一般企業（全業種） 9割、官公庁・役所・学校 1割

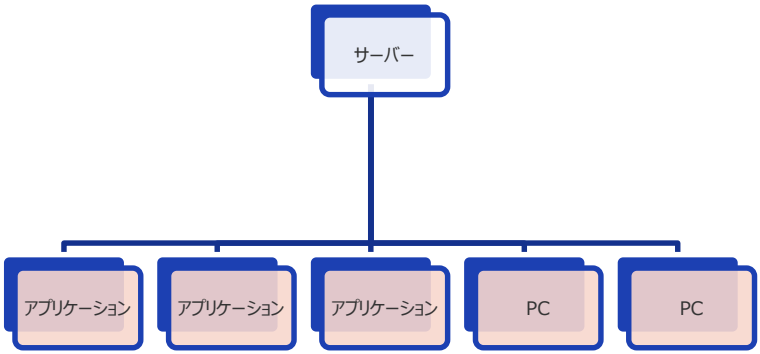
インフラ		アプリケーション
<ul style="list-style-type: none"><li>・PC(社員)</li><li>・サーバー(データ)</li><li>・ネットワーク(企業内)</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・業務アプリケーション (企業内のシステム)</li><li>・WEBアプリケーション (スマホアプリ、PCサイト)</li></ul>
大	【需要】	低
低	【未経験者のハードル】	高

# インフラとアプリケーション

## インフラの需要が大きい理由

- 1. アプリケーションのオンライン使用には、サーバー・ネットワークが必要である。
- 2. 社内だけのネット環境をの構築して、外部から接続出来なくしたり、アクセス制限をかける。
- 3. 一般企業でも多く使用されている。例えば勤怠管理やグループウェア、身近な所ではコンビニの発注や飲食店のオーダー等に使われている。

【対象】 一般企業（全業種） 9割、官公庁・役所・学校 1割		
インフラ		アプリケーション
・PC(社員) ・サーバー(データ) ・ネットワーク(企業内)		・業務アプリケーション (企業内のシステム) ・WEBアプリケーション (スマホアプリ、PCサイト)
大	【需要】	低
低	【未経験者のハードル】	高



ITと聞くと理系の方が強いイメージがありますが、実はインフラに対しては文系の方が強い部分もあります。

強み①文系科目は暗記に強い  
強み②読解力が高い

インフラの業務はマニュアルをベースに行い、マニュアルに沿って正しく進め、リーダーや上司に正しく報告をする。  
という文系の方の得意分野を活かして結果を残しています。

とても需要の高い技術ジャンルであり、文系、理系問わず活躍出来る分野なのです。

# 4. インフラエンジニアとは－1

## インフラエンジニアの業務内容

【インフラ運用の主な作業の3つ】

### 障害対応

ハードウェア(サーバ、スイッチ等の機器)の故障対応、急激なアクセス増への対策、不適切な権限設定(間違えてアクセス権限を剥奪する等)によるアクセス不可への対応。

### キャパシティ管理

インフラを設計した際に想定していたアクセス数、データ量と実際にインフラを稼働してからのアクセス数、データ量の間にギャップが発生したときの対応業務。

### インフラ起因でない 原因の切り分け

◆システム障害→「インフラ起因の障害」と「インフラ起因ではない障害」の2つがある  
この「インフラ起因ではない障害」とは、プログラムのバグ(間違い)やアプリケーションの設定ミス等が原因で発生する障害のこと。

## インフラ運用に求められる能力

- ①チームで行う業務が多いので、チームに溶け込む社交性
- ②チームで行う業務だからこそ、頻度と質が高い報告・連絡
- ③ITインフラに関する基礎的な専門知識全般



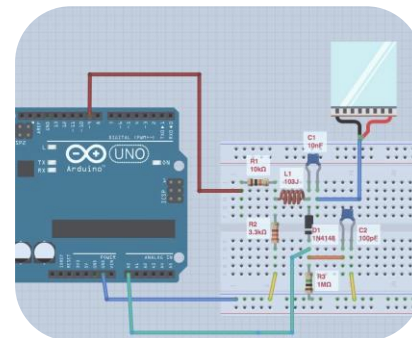


# 5. インフラエンジニアとは – 2

## インフラエンジニアの業務内容

### インフラ構築の主な作業

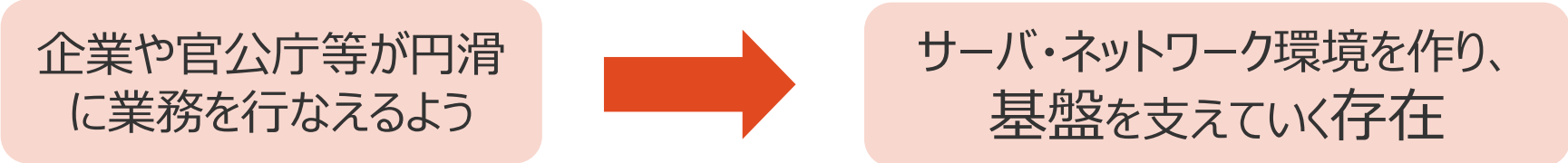
- ◆「機器の準備」「機器の組み立て」「機器の取り付け」
- ◆「ソフトウェアのインストール・設定」
- ◆「動作・負荷テスト」



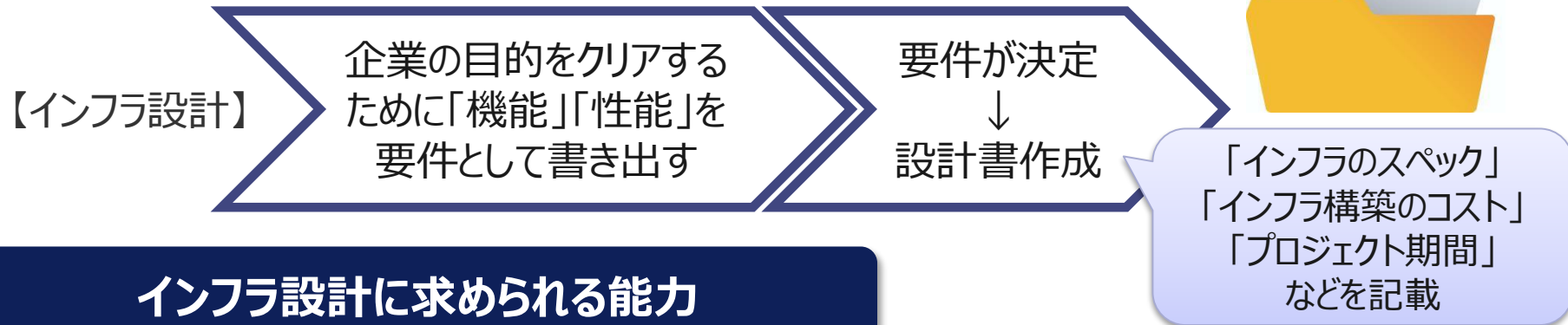
## インフラ構築に求められる能力

- ①インフラ構築の経験からくる作業効率の高さ
- ②現場では大人数での作業となるので、管理能力は必須
- ③サーバ、ネットワークともに広範囲を網羅する知識

# 6. インフラエンジニアとは - 3



## インフラエンジニアの業務内容



## インフラ設計に求められる能力

高いコミュニケーション能力	企画力	ドキュメント作成能力	専門知識と経験
クライアントから要件に繋がるニーズをヒアリング	抽象的なニーズを具体的な要件に落とし込む	分かりやすい設計書を書く	高いレベルでのITインフラの専門知識と経験

# 7. インフラエンジニアとはー 4

## インフラエンジニアとして働くメリット



### ①未経験や文系理系問わず誰でも活躍することができる

インフラエンジニアは、需要の高い分野でありながら、クライアントと長期的に向き合う仕事である為、入社前後の教育によってスタートを切ることができる分野と言える。

### ②安定している仕事

インフラ構築や運用業務は、インフラ稼動する限り仕事はなくなりず、ほぼ半永久的に仕事が続いていく為。

### ③手に職を付けられる

インフラの分野は需要の高い資格が複数あり、業務経験だけでなく、資格取得も行なっていければ、目に見える形で手に職を付けていける。

### ④女性でも活躍することができる分野

近年、雇用する企業やクライアント側双方で、女性の働きやすい環境作りが進んでいる。

### ⑤チームで働くことができる

インフラエンジニアは、基本的にチームで仕事を行なう。





# インフラエンジニアとしての魅力

## インフラエンジニアの魅力

### 魅力1

習得した技術を多数の企業や業種で発揮することができる。

### 魅力2

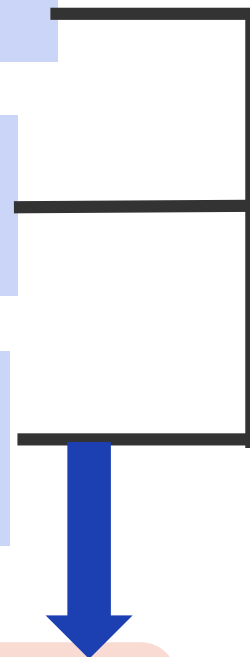
習得した技術をもとに類似した新たな技術へ広げることができる。

### 魅力3

同じ技術だけを一生続けるのではなく、時代と共に増えていく新たな技術を得ることができる。

### 以上のことから

作業だけに目を向けるのではなく、技術に目を向けることで楽しさを感じていって下さい。



# 9. ヘルプデスク業務とは

★企業や官公庁等が円滑に業務を行なえるように、パソコンをはじめとする製品の使用方法やトラブルに関する問い合わせに対応する職種です。

## ヘルプデスクの業務内容

問い合わせ、トラブル対応。パソコンの初期設定。プリンタの設定。OS、ソフトウェアのインストール。サーバ、ネットワークのメンテナンス。



## ヘルプデスクのやりがい、厳しさとは

やりがい

感謝される仕事。専門知識を活かし、困っている社員を助けることになるので、無事にトラブルを解決できた時は「ありがとう」と感謝の言葉をもらう機会が多い。

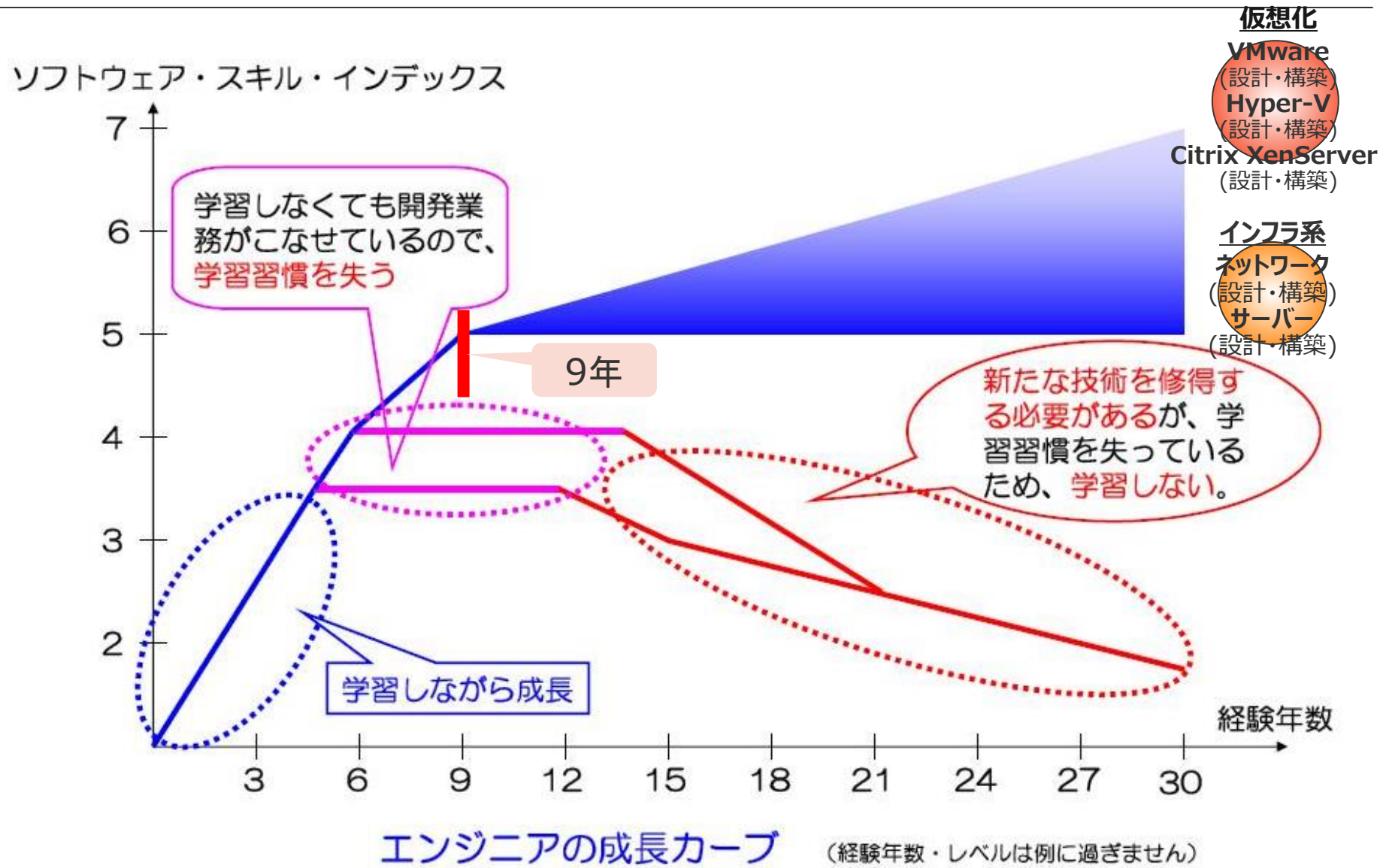
厳しさ

いつ、どのような問い合わせがくるのか予測できない為、あらゆるトラブルに臨機応変に対応しなければならない。

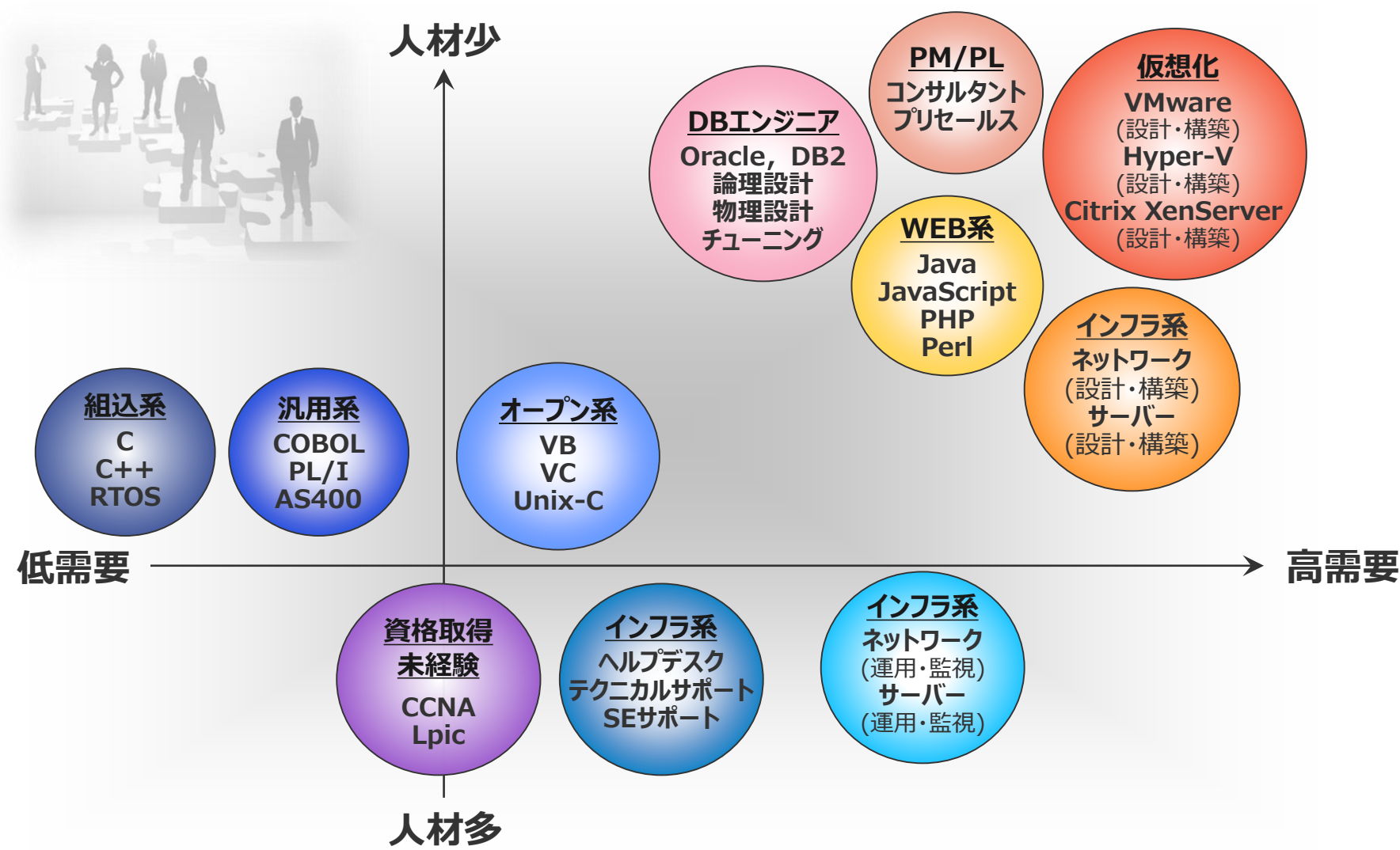
## ヘルプデスクに求められる能力

PC操作。コミュニケーション能力。我慢強さ、冷静さ。ビジネスマナー。  
丁寧な言葉遣い。接客意識。新しい技術への興味。変化に適応する為の勉強を常にできる。

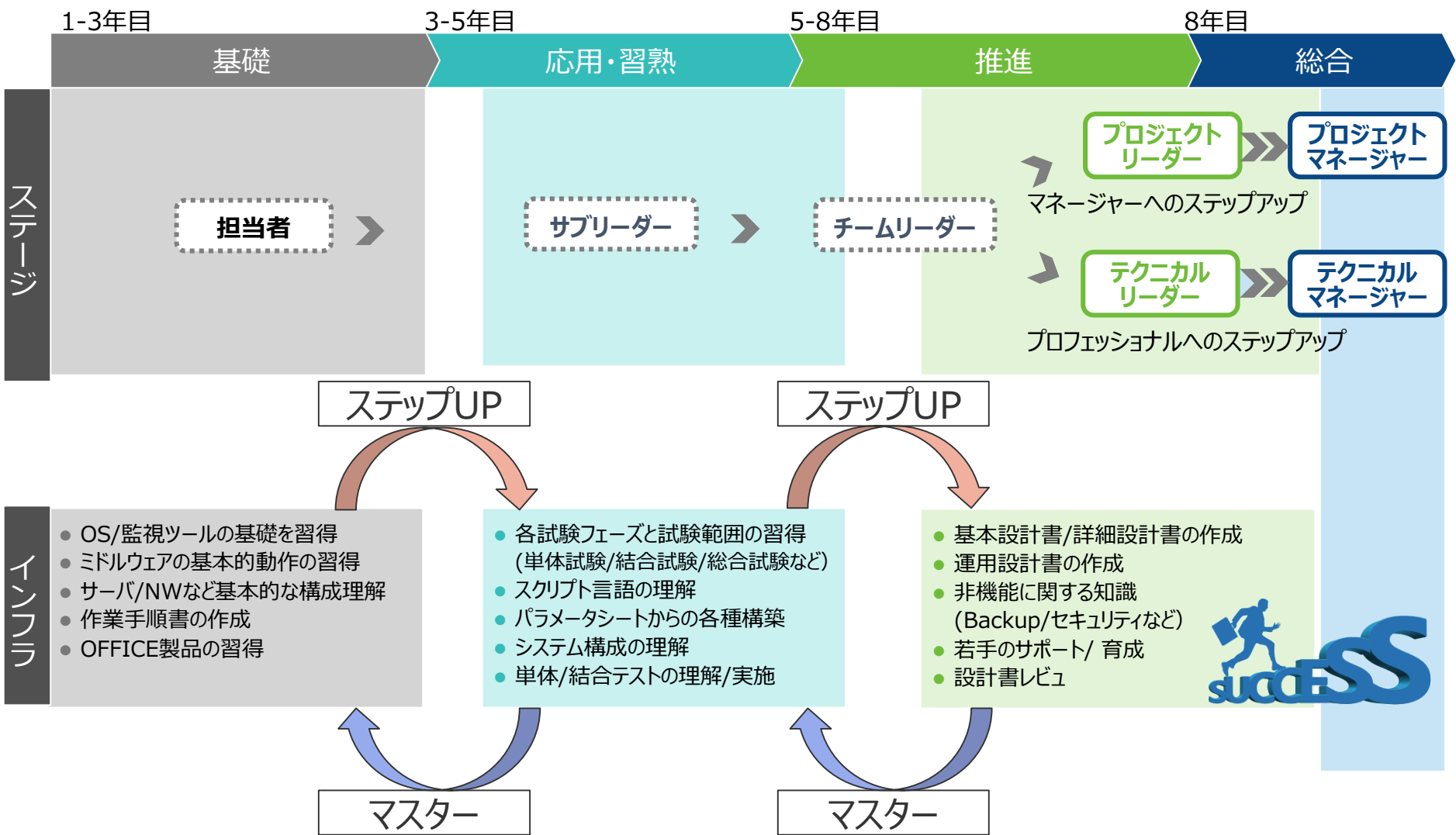
# 10. ITエンジニアの成長曲線について



# 11.IT市場分析(需要に対するエンジニア数)



# 12. キャリアモデル



# キャリアアップ早い人/遅い人

## 早い人

自分の置かれている業務レベルより一步上のレベルに踏み込んでいける人。

具体的には、  
↓

- ・自分の使っているマニュアルの中身を理解する。
  - ・マニュアルを作成できる技術レベルにする。
  - ・監視しているシステムの機能を知る。
  - ・監視しているシステムの監視設定をできる技術レベルにする。
  - ・プロジェクト先の人に教えをもらう、  
難しければ自社のSEに教えをもらう。
- 研修はそれをもとに必要な研修を使っていくのが望ましい。

## 遅い人

自分の置かれている業務レベルのみをこなす人。

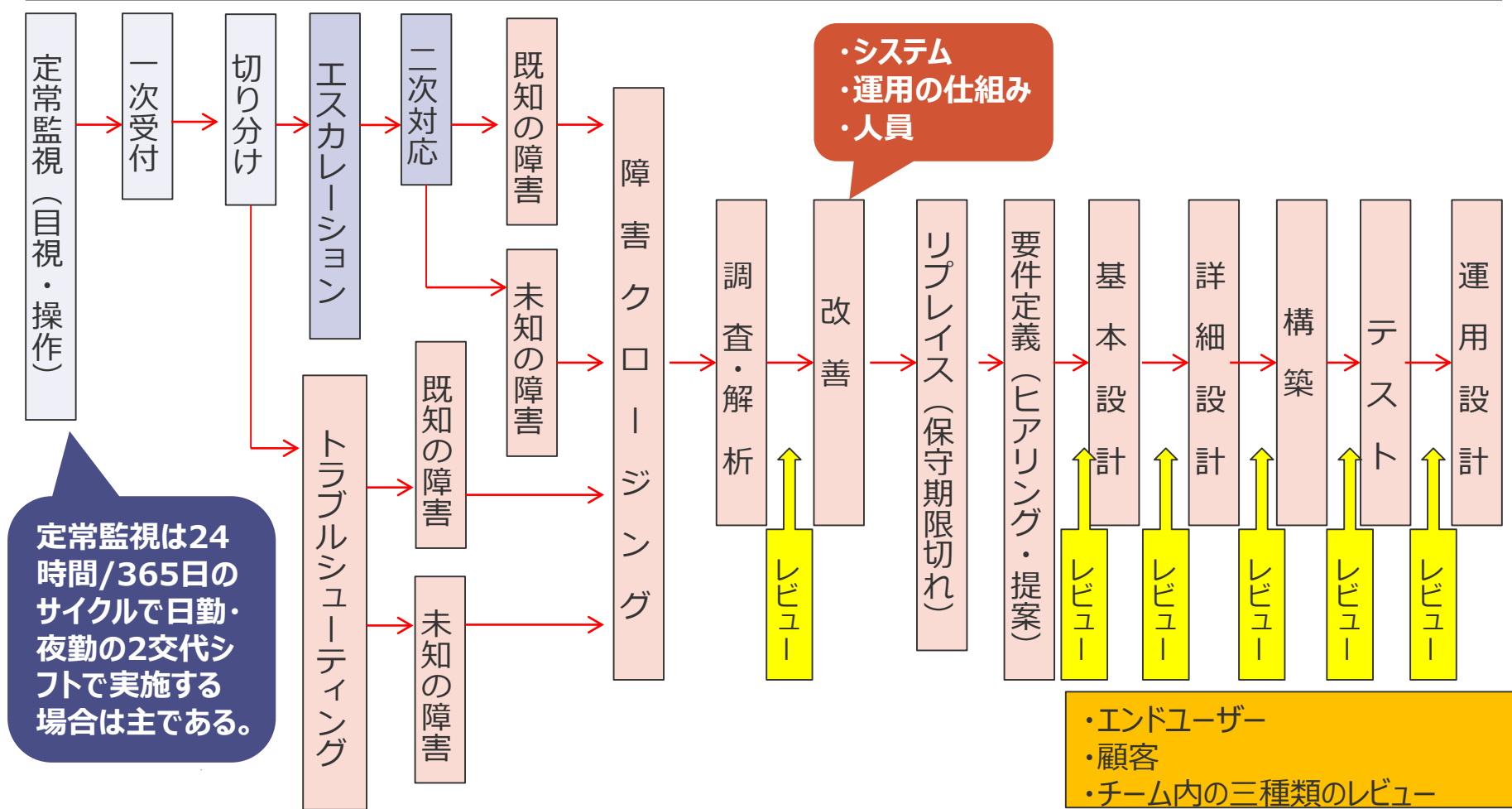
一步上の業務環境に身を置いてから初めて技術習得に着手する人。



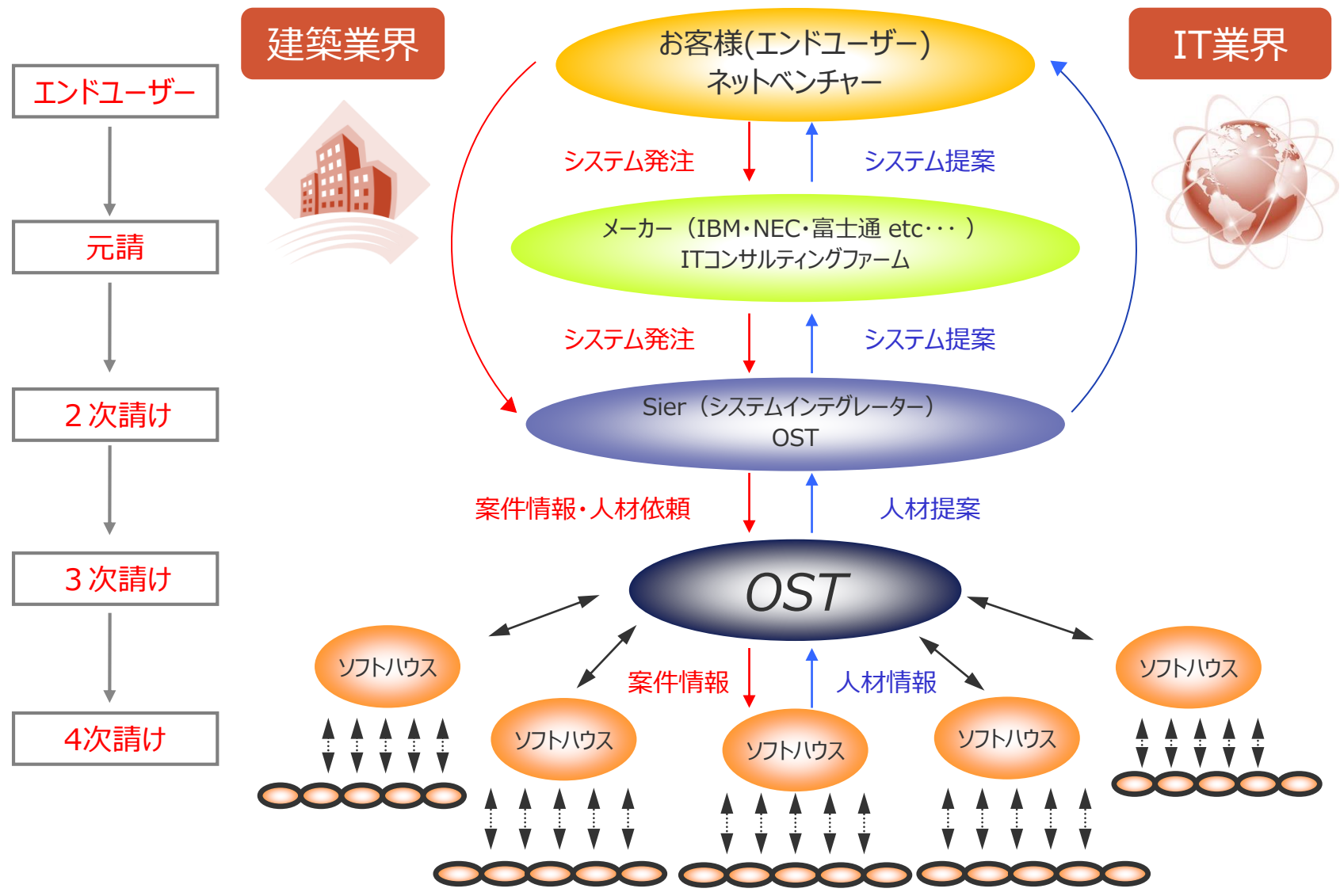


## 14. キャリアパスとプロジェクト工程の流れ

キャリアパス【インフラ】【監視～運用～リプレースの流れ】【下流～上流までの流れ】



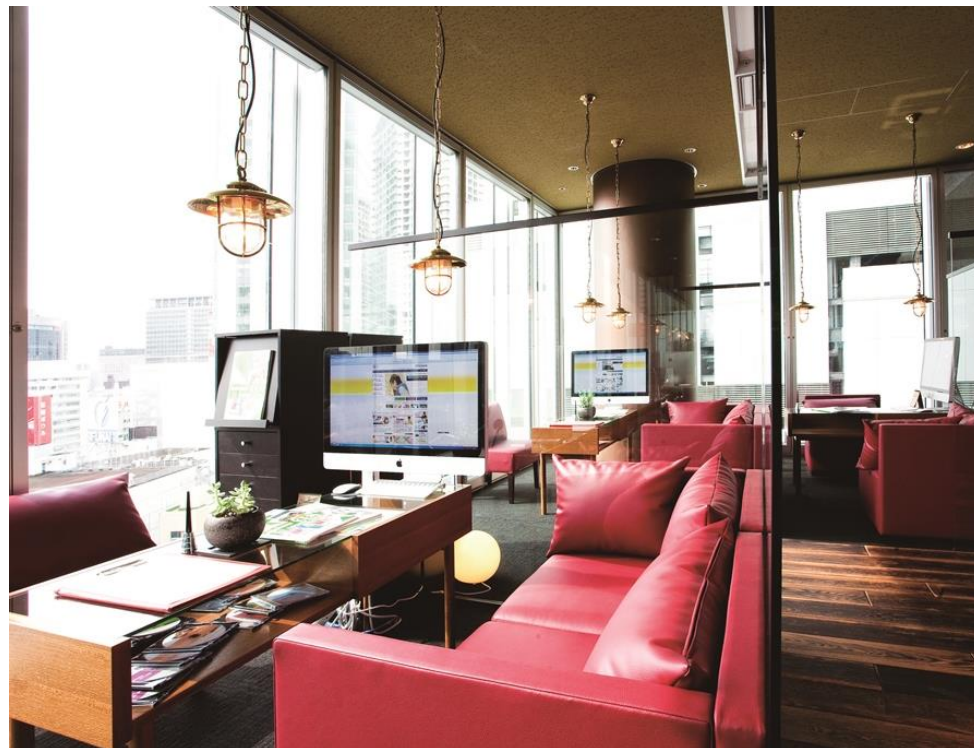
# 15.IT業界の構造(多重構造で建築業界と類似)



# ✓ 研修・教育制度

- ◆ 技術研修
- ◆ 導入研修
- ◆ ビジネスマナー研修
- ◆ 傾聴研修
- ◆ メンタルヘルス研修
- ◆ 英語研修（TOEIC対策）
- ◆ 技術勉強会 など

OSグループ所有のスクールですので、カリキュラムを変化させ、未経験の方から経験者まで、様々な使い方が出来ます。



WEB・プログラム・ネットワーク・OA・資格取得

# KENスクール

 **EGSPACE**  
60日で就転職を実現する無料ITスクール

# 17. 授業料免除制度（研修生）

研修生として出願した者のうち、下記の条件を満たす者については、審査の上、研修生特典が与えられる


- ◆学力面で特に優秀な者
- ◆心身ともに健康な者
- ◆社会に貢献できる気力と向学心に富み、入社後の活躍が期待できる者



1. 募集人数…若干名
2. 特典…研修費全額免除
3. 出願資格
  - ①入社時の年齢が29歳以下の者
  - ②高等学校と同等以上の学力があると認められる者及びこれに該当する見込みの者
4. 試験内容…個人面接、学力試験・適性検査
5. 選考方法…志望理由書、面接試験、学力試験により総合的に判定する
6. 特記事項  
研修期間中は、給与は支給される



# 18. 研修生の先輩たちの声



Q. 研修生制度を利用してみていかがでしたか？

A. 有難いの一言しかありませんね。マイナス要素がありません！！  
資格取得から就業支援まで無料でしてもらえる研修生制度はメリットしかありません。  
研修中も研修生だからこそ、更にしっかりやろうという気持ちが生まれました。

Q. もし特待生じゃなかったら？

A. まったく無知の状態就業先に行かなければいけない。。。  
資格がない状態で就業していたと想像するとゾッとします。  
特待生になったことで選択肢は間違いなく広がりましたね。  
そしてキャリアアドバイザーのサポート+導入研修で身に付けた知識を活かし、  
今ではインフラエンジニアとして就業できています。特待生で受講した結果、より経験を積める  
職場に出会うことが出来ました！

Q. 資格をとって未経験で就業するとギャップが大変そう？

A. 間違いなくはじめは驚くと思います。つぶれてしまう人も多いのでは…。  
先生によっては現場のことを話してくれるので、勉強になりました。おかげで希望の就業に決定しました！

# 19.研修生特別昇給制度



エンジニアはいかに経験を積み、スキルアップするかが年収UPの鍵となります。

通常の採用では各自のスキルや業績貢献等に見合った査定を実施しますが、研修制度を利用される未経験者の方には**入社半年後**と指定した資格(CCNA)を取得時に特別昇給の権利が与えられます。

- 入社時:契約社員 20万8千円/月
- 入社半年後:正社員登用及び昇給査定実施
- 指定した資格(CCNA)を取得した段階で翌月より昇給(1万円/月)

以下判定基準の1～3を全てクリアしている事

- 1:勤怠が良好であること
- 2:客先で一定の評価を得ていること
- 3:自社への報告及び提出物を遅滞なく提出していること

※以降年1回の昇給については在籍年数や年齢に関係なく、各自のスキルや業績貢献等を勘案し査定を実施します。



# 20.客先配属までの流れ



- ・配属決定までは営業部側で窓口担当が付く
- ・配属先決定までは複数の顧客にて並行して、候補のPJを進める。
- ・ご本人側の準備として、顧客面談対策資料をもとに準備を行なう。  
極力少ない顧客面談で配属先決定まで持っていけるようにする。
- ・配属先候補が複数になる場合は、本人にとっての有益な経験になること、  
会社としての売上や取引先として有益なこと、などから決定していく。



# ✓ 6つの社員サポート制度

人材育成制度	<ul style="list-style-type: none"><li>◆最新の技術を情報収集・分析し、最新の研修を開発・提供する仕組み</li><li>◆顧客ニーズにマッチしたエンジニアを育成するとともにキャリアプランの実現とスキルアップをサポートするカリキュラム体系の構築</li><li>◆等級制度の定義と連動したカリキュラム体系の導入</li></ul>
FA制度	<ul style="list-style-type: none"><li>◆技術社員自らの意欲・意思を尊重し、スキルアップや職場改善を実現することにより個人の能力を存分に発揮させるための制度</li><li>◆自ら職務・職場を希望でき、エリア・営業所間を越えて適性に配置できるシステム</li></ul>
キャリアサポート制度	<ul style="list-style-type: none"><li>◆技術者個々のキャリアプラン策定から実行に至るまで全面的に支援し、技術者のキャリア形成を実現させる</li><li>◆定期的に技術者とカジュアル形式な面談を行うことで個々のストレスレベルを把握すると共に必要に応じて関連部署と連携し環境を改善していく</li></ul>
人事考課制度	<ul style="list-style-type: none"><li>◆目標達成を、適性に処遇へ反映されることで有能感を高め、自立できる人財を育成できる制度</li><li>◆長期的なキャリアパスが描ける等級制度の導入</li><li>◆等級制度により、エンジニアの役割・行動を定義</li></ul>
技術組織構築	<ul style="list-style-type: none"><li>◆エンジニアリーダー職制の導入</li><li>◆全エンジニアと双方向に対話可能な組織体制</li><li>◆エンジニアデータが集中管理できる運用体制</li><li>◆エンジニアが提案・企画できるワーキンググループの導入</li></ul>
福利厚生充実	<ul style="list-style-type: none"><li>◆技術者とその家族に対して各種の福利厚生を提供することにより、技術者本人の生活を豊かにすることでモチベーション向上や定着をねらう</li><li>◆地域差なく全従業員が享受できる福利厚生を拡充していく</li></ul>



# 22.入社後のフォロー体制について



## ①入社決定

- ・入社決定から研修開始までは採用課でのフォローを実施。

入社前にも学習用の研修資料を一部提供するなど。



## ②研修開始

- ・入社は配属先決定まで営業部の担当者が1名担当する。
- ・研修内容の中で分からない点などは適宜スクール内の講師にご相談下さい。

## ③配属先決定

- ・配属後はプロジェクト担当者の営業担当者が1名担当。
- ・配属後一定期間経過後に業務へ慣れてきてからは、プロジェクト先とは別に所属部署内でのチーム配属となるので、月に1度のチームミーティング、定期的にリーダーとの個別面談等でのフォローを実施。

- ◆ 年間の中で社員満足度向上チームのカウンセラーからの定期フォローの実施を行ないます。
- ◆ 上記のように複数のコミュニケーション窓口がありますので、自らも積極的に相談や要望などを実施して、目標とするキャリアパスの実現を目指して下さい。

# 23. 売上拡大の貢献について

- ◆ 会社として貢献度の高い点に売上拡大というのがあるが、売上拡大には大きく3つの種類がある  
→ 自らのキャリアのフェーズによって貢献できるターゲットが変わってくる

## 1. 増員(教育)による売上拡大

- ・ 自らの下にメンバーを付けて育てることによるもの
- ・ 未経験で参画した最初のプロジェクトでも実現させられる売上拡大  
→ 自社として1名で参画する方が実現させやすい

## 2. 増員(マネジメント)による売上拡大

- ・ 他社要員を自社要員(BPも含む)に変えていく
- ・ 増員、プロジェクトのフェーズごとの増員など

## 3. プロジェクト拡大による売上拡大

- ・ 他の技術ジャンルやチームへの拡大  
(例：サーバチームで参画したが、ネットワークチームやアプリチームも会社として任せられるようになる。)
- ・ 次のプロジェクトや同顧客の別プロジェクトを会社として任せられるようになる
- ・ 自らが行なわなくても売上拡大の貢献につながる

